

港湾空港管理事務所より



気象観測業務

新島空港を利用する航空機は、定期便のほか、消防庁等の公用機や個人所有のものなど様々です。

これらの航空機が安全に運航するため、新島港湾空港管理事務所では気象庁からの委託を受け、航空気象観測業務を行っています。



医療品倉庫

空港消防

空港ターミナルビル
(執務室は、この中です)

左から、視程計（視距離）、雨量計、シーロメータ（雲高・雲量）、温度計・湿度計
右の写真は、風向風速計（滑走路の両端に設置）



気象観測室（執務室に併設されています）

気象測器から送られてきたデータがモニターで確認できます。

（8台もあります！）

視程、雲量・雲高及び天候については、職員が目視で確認した情報を、1時間ごとに東京航空地方気象台へ通報し、航空機運航の一助となっています。

港湾空港工事担当からのお知らせ



新島港防波堤(北)建設工事

平成20年度より、主に西からの波浪に対して定期船及びジェットfoilの安定的な就航を図るため整備を進めてきましたが、平成29年度工事で計画延長までの防波堤本体の据付が完了しました。



防波堤（北）の整備状況

本年度は新島港の更なる静穏度の向上のために、防波堤（北）先端部のパラペット設置を行っています。防波堤にパラペットを設置することで波の越波を防ぎ、港の静穏度の向上が期待できます。また、パラペット設置に伴って、赤灯台を防波堤（北）の先端に移設します。



パラペット施工状況

パラペットとは？

パラ(防備する)とペット(胸)の合成語としてラテン語から派生。建造物上面ないし先端を保護するために設けられた比較的低い障壁をいう。

【世界百科事典より引用】